

新たな価値の創造を担う 日本工業大学 の高い研究力!

2022年4月 **Topics!**
データサイエンス学科が
スタートしました

NIT Open Campus

日本工大には、ここでしか得ることができない
さまざまな魅力があります。
オープンキャンパスでは是非その魅力を体感してください

8.27(土)・28(日) 9.10(土)

※詳細は本学Webサイトをご覧ください

基幹工学部

- ・機械工学科
- ・電気電子通信工学科
- ・応用化学科

先進工学部

- ・ロボティクス学科
- ・情報メディア工学科
- ・データサイエンス学科

建築学部

- ・建築学科
- ・建築コース
- ・生活環境デザインコース

日本工業大学

埼玉県南埼玉郡宮代町学園台4-1 <https://www.nit.ac.jp>

大宮から
29分

新白岡駅まで
JR上野東京ライン・湘南新宿ライン・宇都宮線で
17分 + スクールバス 12分

北千住から
44分

東武動物公園駅まで
東武スカイツリーライン（急行）で
39分 + スクールバス 5分

※列車の運行状況により異なる場合があります。

上田 学（建築学部 建築学科 准教授）

建築工法は、安全性だけでなく施工の難しさや経済性なども考慮して決めます。実際の現場で選ぶ接合形式が、地震の時にどうな挙動をするのか解明したいのです。建築物の強さやしなやかさは、もちろん接合部の強さだけでは決まりません。設計者にとって、より実用性の高い研究を目指しています。地震や台風などの自然災害に対する安全性の確立とともに、建築の自由度を高め、人にも街にも、そして環境にも優しくなれる「構造デザイン」を探求しています。

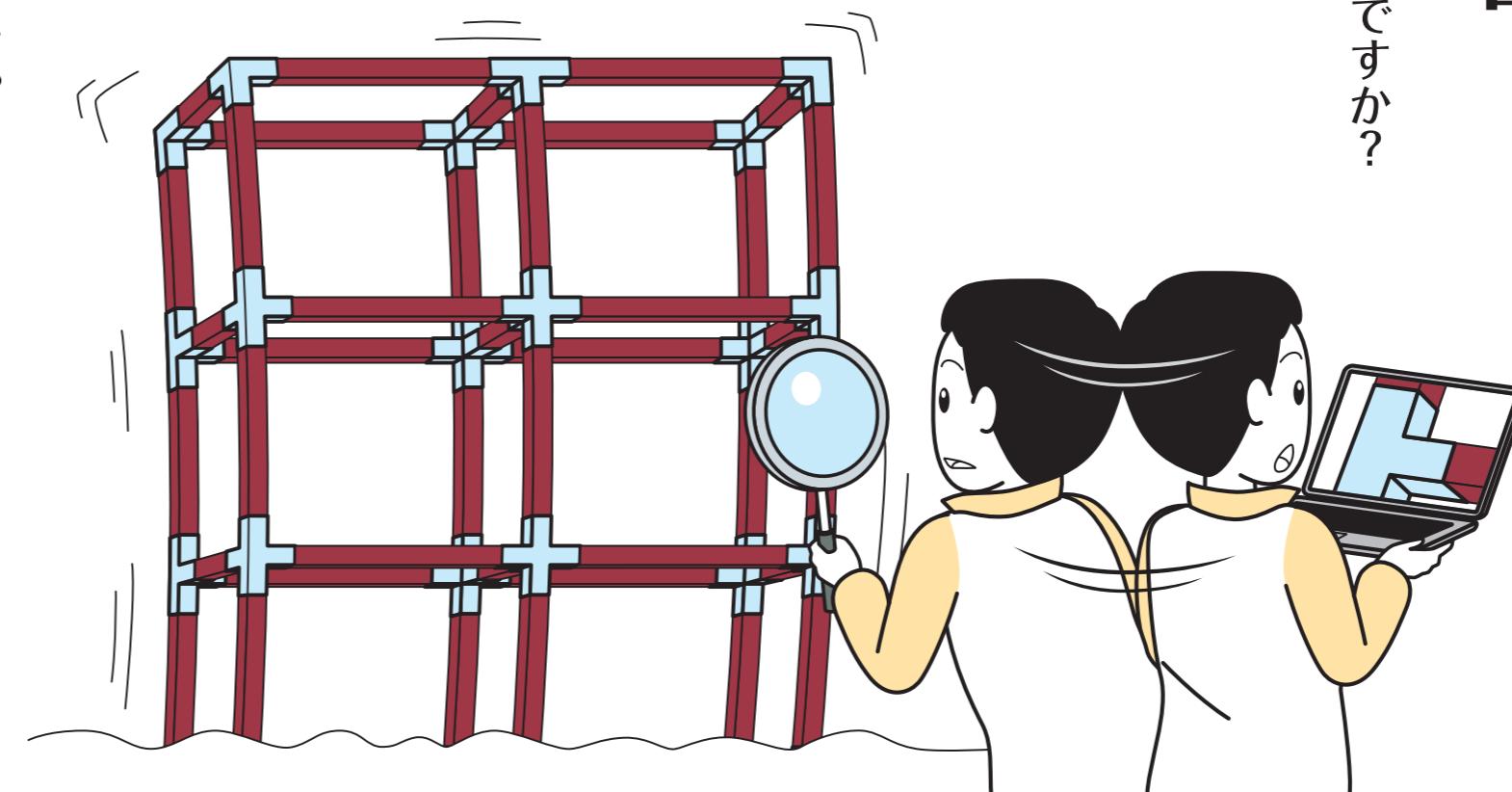
私は、ラーメン構造の中高層建造物の「柱梁接合部」に注目する研究を進めています。柱梁接合部とは、ラーメン構造で積み重なる長方形の”構造体をつなぐ要“にあたります。

ラーメン構造は、丈夫な鋼材を用いることとで高い耐震性を確保できます。一方で、地震で大きく変形する傾向があるので、中高層の建築物では配慮も必要です。

建築物には欠かせない「ラーメン」があること、ご存知ですか？長方形の骨組みを組み合わせたこの「ラーメン（Rahmen）」、ドイツ語で”額縁“を意味する言葉なんです。

”接合部“の挙動に着目！ 目指して建築構造が持つ

人にも街にも優しい建築物を



Webで
動画を公開中!
NITトレインラボ
で検索

建築学部 建築学科 鋼構造／構造設計研究室

TRAIN LABO NO. **38**